

安定も変化も 未来像探す若者

平成とは

第3部 うつろう空気

4

気温35度の土曜日。額から汗を垂らしながらピラを配る年長世代を、若者たちが軽い身のこなしでひらりと避ける。見ていて、いたたまれない気持ちになる。

「おばあちゃんの宿宿」と呼ばれる東京・巣鴨の駅前で、改題に反対する活動に立ち会った。若者グループSEALDsに影響を受けて結成した主に60代以上の人たちで、その名もOLDs(オールDs)。



8月25日午後、東京都豊島区、林紗紀撮影

街頭に立つのは170名を超えたが、「若者で署名するのは1万人に1人」と大学名誉教授の高橋正明さん(78)は言う。今の政権でいいんですかと呼びかける

保守と革新従来の常識とは逆

世界で若者が反政府デモを繰り返している。だが今、若い世代の政権与党への支持は高い。昨年の総選挙の出口調査で、若者が若かりし頃、

早稲田大学准教授の選挙結果が出たのは、なぜか。知人の研究者に聞いて回ったが、みな首をかしげた。その後も調査を重ねると、20代から40代までが同じ傾向を示していた。

「保守」と「革新」の間に位置づけられてきた。パンクバンドで回答者がどこに視線を向けたかが分かる。自民は保守であり、社民や共産は革新政党だというのが「政治の常識」だ。しかし、回答者は目をさままわらせていた。

「日本が取り残されている感覚」

平成に入り、バブル崩壊後に企業は新卒採用を減らした。同時に「変わらなければ生きていけない」と考え、保守とされる日本維新の会が送る「革新」を選び、逆に共産党は「保守」寄りだったのだ。

「保守」と「革新」の間に位置づけられてきた。パンクバンドで回答者がどこに視線を向けたかが分かる。自民は保守であり、社民や共産は革新政党だというのが「政治の常識」だ。しかし、回答者は目をさままわらせていた。

大きな失点がないように見える。就職も好調だから交代を求めない。大学に入って政治に興味を持ったという東京学芸大3年の女子学生は、自分をリベラルだと考える。LGBTの権利擁護や女性差別撤廃に強く賛同する。その上で、昨年の総選挙で投票したのは自民党だった。

「改革」という言葉が若者に響いているのはなぜか。政治に足を踏み入れた20代会った。田中将介さん(25)は今年4月、東京都練馬区長選に立候補した。

「改革」という言葉が若者に響いているのはなぜか。政治に足を踏み入れた20代会った。田中将介さん(25)は今年4月、東京都練馬区長選に立候補した。学生時代に国際NGOの一員としてカンボジアに行き、人身売買や児童売春を防ぐ活動をした。一方で、「反安倍」を連呼するデモや野党のあり方には違和感を抱き続けてきたという。

「改革」という言葉が若者に響いているのはなぜか。政治に足を踏み入れた20代会った。田中将介さん(25)は今年4月、東京都練馬区長選に立候補した。学生時代に国際NGOの一員としてカンボジアに行き、人身売買や児童売春を防ぐ活動をした。一方で、「反安倍」を連呼するデモや野党のあり方には違和感を抱き続けてきたという。

「改革」という言葉が若者に響いているのはなぜか。政治に足を踏み入れた20代会った。田中将介さん(25)は今年4月、東京都練馬区長選に立候補した。学生時代に国際NGOの一員としてカンボジアに行き、人身売買や児童売春を防ぐ活動をした。一方で、「反安倍」を連呼するデモや野党のあり方には違和感を抱き続けてきたという。



選挙権年齢が18歳以上に引き下げ第2次安倍内閣が発足。スウェーデンが開始。年越し派遣村に注目。民主党政権が発足。ロストジェネレーションを朝日新聞が連載。小泉首相が8月15日に靖国参拝。派遣労働者が製造業に解禁。小泉政権が発足、規制緩和など断行。小林よしのり「戦争論」がベストセラーに。このころ就職氷河期が始まる。バブル崩壊で若者文化が花開く。

「リベラルは本来はより良い未来を願う思想のほうなのに、日本では現状を愛することに頑強に反対している」。グローバリズムに適応できず、長期低迷が続く平成の政治へ送り込むことだ。

デジタル版から
停電にサラダ油ランプ

水を治める者は国を治める。分かっていたはずだが、ようせなんだ。

てんでんこ